



監視業務に自在性を与え 新たな価値を『プラス』する。

監視カメラ統合管理システム(ジー・プラス)
MPC G-Plus



画面はハメコミ合成です。

複数のレコーダを まるで1台のように。

本社から全店舗・全レコーダの統合管理も可能

『Gプラス』は、システム上のカメラ、レコーダの台数を意識する必要がありません。システム規模にかかわらず、あたかも1台のレコーダを扱うように、映像切替、検索・再生、データバックアップができます。同様に、点在する遠隔地店舗のレコーダを束ね、本社などで一元管理するシステム展開も可能です。

既存カメラ*との ハイブリッド運用が可能。

デジタルとアナログをボーダレスに運用

台間カメラのように被写体が近い場合や、休憩コーナーなどの狭小エリアに設置するケースでは、既存のアナログNTSCがまだまだ活躍します。『Gプラス』ならハイビジョンもアナログも、1台でスマートな運用が可能です。

※当社台間カメラ「ITA-390」や「MPC-8000」シリーズに対応。

スタッフ教育や 得意客対応のシーンでも。

セキュリティ以外のシーンでも活用

『Gプラス』が扱っているものは、店舗内の視覚情報です。その用途は不正監視にとどまらず多岐に転用することができ、従業員教育や得意客対応に活用されている店舗様もあります。経営判断の材料さえ見出すことができるというオーナー様もおられます。ユーザー様のビジョンに即応し、具現化させる。これも『Gプラス』の機能のひとつです。

台間カメラによる遊技台の個別監視&録画。

台間カメラを使った遊技台の個別監視は、遊技台数に応じてカメラの設置数も増えます。カメラ台数が増えると映像チャンネルも膨大となりますが、『Gプラス』なら店舗マップから任意の遊技台映像を1クリックで表示。

録画データの検索もホールコンやPOSと詳細連動する独自検索エンジンで、見たい映像を簡単・正確に再生します。

台間設置



台間映像



台間映像内の人物は当社スタッフです。改良のため予告なく仕様および外観などを変更する場合がございます。

アイ・ティ・エイ・ビデオ・サービス株式会社 [本社] 〒590-0831 大阪府堺市堺区出島西町 3-11

www.ita-video.co.jp

■大阪本社 TEL.072-243-6666 ■東京支社 TEL.03-5800-0717 ■中部支社 TEL.052-701-1710 ■福岡支店 TEL.092-432-3130 ■札幌営業所 TEL.011-231-3600
■仙台営業所 TEL.022-246-9110 ■金沢営業所 TEL.076-292-2250 ■広島営業所 TEL.082-264-2424 ■四国営業所 TEL.0877-98-4912 ■熊本S.S. TEL.092-432-3130

セキュリティカメラシステム / 監視カメラ統合管理システム / デジタルハイビジョン CCTV / ネットワークカメラシステム / デジタルレコーディングシステム / プロサウンドシステム / マルチビジュアルシステム / デジタルサイネージ / ワイヤレスインターカム / 車番認識システム / 顔認識システム / 顧客分析サービス / TV会議システム / 他

統合管理システム 『MPC-Gプラス』

監視を超え、接客向上にも貢献 情熱リーグ優勝企業も導入する『Gプラス』

IT-Aの監視カメラ統合管理システムは、セキュリティシーンにとどまらず、スタッフ教育、顧客サービスといった用途でも活用されている。それを可能ならしめるのは、映像へのアクセス性にこだわった各機能と直感的に使える操作性だ。

昨年の『ばちんこ情熱リーグ』で、優勝店舗を輩出したベラジオコーポレーション。決勝6店舗枠に系列3店舗を送り込むなど、圧倒的な地力を見せつけた。

接客日本一の称号を得た同社は、セキュリティ設備も革新的に活用し、顧



『MPC-Gプラス』メインモニター(左)とマップモニター(右)



人材のポテンシャルを引き出す企業風土にも定評があるベラジオコーポレーション(株)。スタッフの意識は高く、活気にあふれている

客サービスへと転化させている。そんな同社のニーズに応える監視システムが、アイ・ティ・エイ・ビデオ・サービスのハイビジョンCCITV統合管理システム『MPC-Gプラス』だ。

各台計数の普及に伴い、事務所に詰めるスタッフ数、滞在時間は減少傾向にある。おのずとライブ映像に接する機会も少なくなるなか、『ベラジオ江坂店(大阪府吹田市)ではそのライブ映像を「積極的に見ている」という。不正行為はもちろん、行き過ぎた技術介人も監視対象として

おり、見つけ次第声掛けを行っている。「プロ、セミプロを無制限に受け入れると、本来投資還元したいターゲット層にシワ寄せがいく(松井雄亮マネージャー)からだ。

『Gプラス』のマップ機能を使えば、ホールを俯瞰しながら、ワンクリックで任意台をクローズアップ。ホールから入るインカム情報にすばやく対応し、監視対象が複数になった際のフォローもスムーズだ。ハイビジョン画質は細かい手もとのアクションも、つぶさに映し出すだろう。

もう一点、意識的にライブ映像で見ているものが、接客サービスだ。『Gプラス』のリレー機能を使えば、忙しく動き回るスタッフを映像内で追跡することが容易になる(囲み参照)。配慮に欠く接客があれば、スタッフ本人にそのシーンの録画映像を見せる。「客観的に見てもらうことで気付きを促すことができます」と松井マネージャー。録画映像でも表情、物腰などがしっかりと映っているからこそ成立することといえる。

景品誤差が生じた際も、景品種、数量が一目瞭然であるため、未解決に終

わることはまず皆無だという。

マンパワーを要しがちなこれらの作業も、『Gプラス』ならホールコンやPOSと連動した映像検索エンジンと、複数レコーダをまたぐ一括検索機能で、簡単正確に見たい映像へとアクセスする。

「防犯にとどまらず、スピード感をもってイメージした店舗運営をサポートしてくれる。たいへん満足のいく監視システムだと思います(松井マネージャー)」

リレー機能 画面の周囲にある「リレーボタン」で人物の追跡が簡単にできる

上の例では、人物が画面奥から手前へと進み、右手へ曲がったので、右下(赤囲み)の「リレーボタン」をクリック

人物が進んだ先のカメラ映像へと切り替わる

※画像内の人物はITA社のスタッフ